## 4.6 Java 実行環境の設定(オプション)

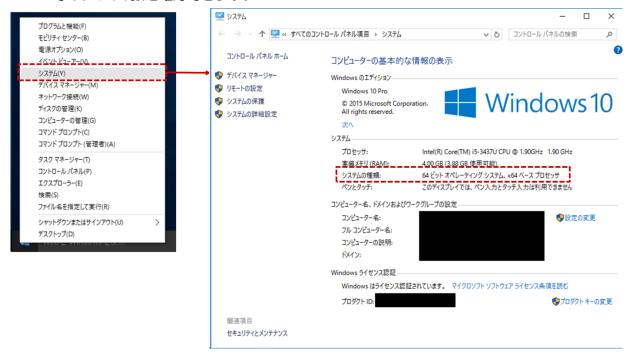
パッケージソフト(netNACCS 処理方式)にてライセンス申請書作成ソフトを使用する場合には Java のインストール、および設定が必要です。以下の手順(※)にて、Java のインストール、および設定を実施してください。

すでに Java をインストール済みの方は「(2)ライセンス申請書作成ソフトを起動する Java の設定」から実施してください。

※ 2019/1/31 時点での手順となります。ダウンロードサイトの URL、および UI が変更となる場合がございますが、ご了承ください。

2019/2/1 より、Oracle Java8 は Oracle 社による無償サポートの対象外となりますので、最新版の OpenJDK へ移行が必要となります。OpenJDK11 以降は 64bit 版 OS(※)でのみ利用可能であるため、32bit 版 OS(※)をご利用の方は、64bit 版 OS へ移行をお願いします。

※ OSのbit 数は[コントロールパネル | システム]の[システムの種類]にて確認できます。
例)Windows10の場合、スタートメニューを右クリックから[システム]を選択することで OSのbit 数を確認できます。

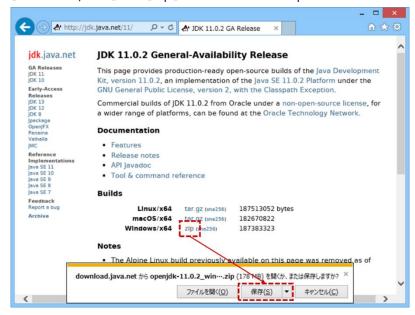


## (1) Java (OpenJDK) のダウンロード

- 1. Web ブラウザにて、「http://jdk.java.net/」へアクセスします。
- 2. NACCS センターより指定された JDK バージョンをクリックします。



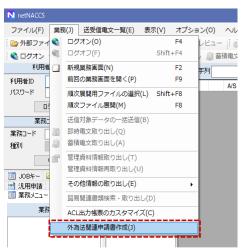
3. [Windows/x64] の [zip] をクリックし、zip ファイルをダウンロードします。



- 4. ダウンロードした zip ファイルを解凍し、任意の場所に Java フォルダーを作成し、 移動します。
  - 例) C:¥Java



- (2) ライセンス申請書作成ソフトを起動する Java の設定 ダウンロードした Java をライセンス申請書作成ソフト起動用 Java として設定します。
  - 1. パッケージソフトのメインメニュー [業務 | 外為法関連申請書作成] を選択します。



2. Java 実行環境設定ダイアログが表示されるため、 [参照] ボタンより Java 実行ファイルを指定します。



3. [申請書作成ソフト起動] ボタンをクリックし、ライセンス申請書作成ソフトが 起動することを確認します。



## (3) Java 実行環境の再設定

Java のアップデートが発生した場合、ライセンス申請書作成ソフトのメニューより Java 実行環境の再設定が可能です。

- 1. 「(1)Java(OpenJDK)のダウンロード」を参照し、Java ファイルをダウンロードします。
- 2. ライセンス申請書作成ソフトの[その他]メニューから[Java 実行環境設定]を 選択します。
- 3. 再起動確認ダイアログが表示されますので、問題なければ [OK] ボタンをクリックします。
- ※ 編集中のファイルがある場合、内容は失われます。保存してから実行してください。



- 4. Java 実行環境設定ダイアログが表示されるため、 [参照] ボタンより、ダウンロードした Java ファイルを設定し、 [申請書作成ソフト起動] ボタンをクリックします。(「(2)ライセンス申請書作成ソフトを起動する Java の設定」を参照)
- 5. 設定した Java 実行環境にて、「ライセンス申請書作成ソフト」が再起動されます。